



南中だより

【学校教育目標】 【校訓】 【目指す学校像】

- | | | |
|------|-------|-----------|
| ・優しく | 心を磨く | 誰一人取り残さない |
| ・強く | 身体を磨く | 一人一人の良さが |
| ・賢く | 智性を磨く | 伸びる学校 |

川口市立南中学校「学校だより」6月特別号(No. 405)

令和5年6月6日発行

TEL: 048-222-3540 HP アドレス: <https://minami-j-kawaguchi-saitama-edumap.jp>



77期生・多くを学んだ3泊4日の修学旅行

校長 森田 吉信

5月31日から6月2日の2泊3日で予定されていた修学旅行は、大雨の影響により帰りの新幹線が運転休止となり、おそらく川口市においても前例のない、延泊という想定外の事態となってしまいました。

旅行会社の方の懸命なご尽力により、何とか宿泊する場所を確保することができましたが、6クラスのうち2クラスが京都の2ヶ所に分かれての宿泊、そして、残りの4クラスは、電車で奈良に移動しての宿泊という緊急対応となりました。

主要な荷物を既に送ってしまったため、入浴はできましたが着替えに不都合が生まれました。また、緊急対応のためホテルも食事の用意ができないところ、205名分という大人数の食料を、旅行会社の方自らが走り回って手配していただきました。

77期生は、そのような状況を理解してくれていたのか、実行委員を中心に男女問わずに協力し、不平不満を言うこともなく先生方を心配させないようにと一生懸命に行動してくれました。また、夜遅くなってしまい疲れているにも関わらず、どの生徒も笑顔でいてくれたことで先生方も救われました。

翌日は早朝から駅で並んで自由席で帰るという選択肢もありましたが、生徒の疲労度や立って帰らなければならないというリスクもあり、夕方まで待って指定席で帰ることとしました。そのため朝は少し時間的に余裕ができ、疲労を回復することができました。また、夕方までの時間も駅で待つのではなく、旅行会社の方が探してくれた近くの公園で遊んだり、また、隣接の水族館を見学したりとゆったりと過ごすことができました。公園で元気に遊ぶ姿を見て、この選択が適切であったと実感しました。4日間を通じて、学年の先生方や養護の先生は睡眠時間も削りながら、生徒に寄り添い支援してくれました。生徒と先生方が一体となっている姿を見て、校長として誇りに思いました。また、今回の緊急事態を乗り越えて、77期の絆は更に深まったと感じています。

このような緊急事態を乗り越えられたのも、宿や食事の手配など身を粉にして対応していただいた添乗員の方をはじめとする旅行会社の皆さんのおかげです。また、教育長をはじめとする市教育委員会の皆様にも、常に、ご支援、ご助言をいただきました。そして、何より、心配をなされている中にもかかわらず、学校を信じて待っていただいたご家庭の皆様にご心より感謝申し上げます。

終わりに、コドモンを通じて保護者の方から温かいメッセージをいただきましたので、ご紹介いたします。

「先程無事に帰宅しました。今回の修学旅行の様々なご対応、本当にお疲れ様でした。最終日に何も活動せずに帰路に就く選択肢もあったかと思いますが、この学年はコロナ禍のど真ん中で様々なイベントが中止や簡略化されています。修学旅行も初めてで、せっかくコロナ制限も解けたのに別の理由で一部省略となれば、モヤモヤの残る生徒もいたでしょう。そんな状況で、難しい決断であったと思います。結果的に無事、すべての日程と、さらに延泊で臨機応変に対応することも経験できました。先生方、本当にお疲れさまでした。そしてありがとうございました。」

今回の貴重な経験を今後の生活に生かし、77期生はさらなる南中学校の伝統を築いてくれることを確信した4日間でした。